

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		0110/100575/06/04		事業の種類		5	
年度	19	事務事業名		集会所設置助成事業		作成日	平成21年1月20日	重要度	4
予算事業名		コミュニティ推進事業		担当部課名	まちづくり推進室				
政策名		計画推進のために							
施策名		コミュニティの形成							
				実施計画への記載		有	主要事業の指定		無
根拠法規及び関連法規		相生市集会所等の設置助成に関する規則							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民							
	誰(何)を対象として	自治会							
	意図(どのような状態にしたいのか)	地域住民の活動拠点施設の整備費を助成することで、コミュニティ活動の活性化を図る。							

2 事業の概要 Do

実施の概要		自治会の所有する集会施設の新築及び改修に要する経費(1/2)を助成				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	助成件数		2	6	2	2

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
	主幹以下職員	0.140	0.140	100.0	0.055	39.3	0.050	90.9	
	臨時職員			-	0.000	-	0.000	-	
支出内訳	人件費	2,201,248	1,917,354	87.1	1,218,140	63.5	1,128,172	92.6	
	事業費	1,420,000	2,500,000	176.1	4,750,000	190.0	3,100,000	65.3	
	合計	3,621,248	4,417,354	122.0	5,968,140	135.1	4,228,172	70.8	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	3,621,248	4,417,354	122.0	5,968,140	135.1	4,228,172	70.8	
	合計	3,621,248	4,417,354	122.0	5,968,140	135.1	4,228,172	70.8	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		助成件数							
指標説明(式)		助成件数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
件数	目標	2	6	300.0	2	33.3	2	100.0	
	実績	2	6	300.0	2	33.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1		助成1件あたりに係るコスト							
指標説明(式)		事業費(助成額を除く)／助成件数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	1,100,624	319,559	29	604,719	189	843,976	139.6	
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	地域の集会施設整備をサポートすることで、コミュニティ活動の活性化が期待できる。	4	4
	市民ニーズ	多額の工事費を地域だけで負担するのは難しいため、市の関与(助成)は必要。		
有効性	成果目標(改善)達成度	達成できた	4	4
	市民サービス	集会施設が改善されれば、それを利用する地域住民にとってはサービス向上につながる。		
効率性	負担割合の適正化	1／2の負担は適正である。	4	3
	手段の最適性	助成金交付という間接サポート制度は、主体性を地域に持たせるうえでも重要である。		

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	助成対象については一応の基準を設けたが、回数について検討する必要がある。

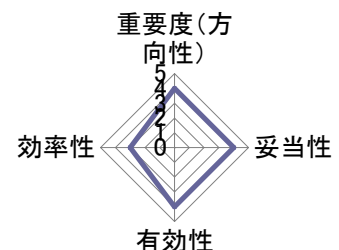
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市の関与の妥当性	助成回数についてルールを設ける必要があるか検討する。 必要があれば要綱の改正も検討する。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

7(1)と同じ



検討の有無	—
総合指標	21